学校番号	306

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	『詳説世界史』（山川出版社）						
副教材等	『最新世界史図説タペストリー二十四訂版』（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究は、文明の誕生から現代まで、世界の歴史を学ぶ科目です。今私たちが生きる世界がどのように造られてきたのか、それを学ぶことで現代の世界が抱える諸課題について理解し、深く考えることのできる豊かな人間性を養います。

世界史の舞台となる世界は広く、時間は雄大です。常に時間・空間の関係を意識しながら、その時を生きていた人々の目線に立つことで、ただの暗記事項ではない人類のストーリーを楽しんでください。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育むことをめざす。

・世界各地の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・世界各地の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を育む。

・世界各地の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を育むとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようとしている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしようとしている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を育むとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅰ部　諸地域の歴史的特質の形成	第1章 文明の成立と古代文明の特質 1　文明の誕生 2　古代オリエント文明とその周辺 3　南アジアの古代文明 4　中国の古代文明 5　南北アメリカ文明	a:人類が文明を築く過程やその要点を理解している。 b:各文明の共通点や相違点を、各文明に遺された資料や地理的条件から考察・表現することができる。 c:各文明について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
		第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシア――草原とオアシスの世界	a:中央アジアの遊牧民の役割や中国王朝の支配体制の確立について適切に理解している。 b:考古資料や中国歴史書から中国皇帝支配の変遷や遊牧民との	試験	試験	ワーク・発表

		2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成	関係を考察・表現することができる。 c:古代の中央アジア・東アジアについて自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験	試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表
		第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開	a:南アジアの東南アジア文明の発展や仏教を中心とした宗教の広がりを適切に理解している。 b:南アジア・東南アジアに遺された遺跡や宗教の特色から、その地域や時代の社会背景を考察・表現することができる。 c:古代インド王朝や東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
		第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展	a:西アジアの王朝の変遷や、地中海周辺の国家の成立、またその特色について適切に理解している。 b:西アジアの文化や地中海国家の文化の変化や広がりが周辺地域に与えた影響などを考察・表現することができる。 c:西アジアの王朝や地中海国家の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表

2学期	第Ⅱ部　諸地域の交流・再編	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成	a:イスラーム世界の成立とヨーロッパ世界の成立について適切に理解している。 b:西アジアとヨーロッパというそれぞれ異なった風土、宗教を持った両世界の特色を考察・表現することができる。 c:イスラーム世界やヨーロッパ世界の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
		第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向	a:イスラーム世界の伝播とその後の変遷について適切に理解している。 b:イスラーム史の資料から情報を読み取り、また周囲のイスラーム世界への接近がどのような影響を与えたかを考察・表現することができる。 c:イスラーム世界の伝播や変遷について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表

		第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 1 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	a:中世ヨーロッパ世界の発展や文化について適切に理解している。 b:中世都市の景観や美術品などから当時の時代背景を考察・表現することができる。 c:中世ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
		第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国	a:唐王朝崩壊後の東アジア世界の展開と、モンゴル大帝国の広がりについて適切に理解している。 b:宋代の諸資料の読み取りや、モンゴル大帝国の版図からモンゴル大帝国が世界に与えた影響を考察・表現することができる。 c:宋代の東アジア世界やモンゴル大帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表

3学期	第Ⅱ部　諸地域の交流・再編	第9章 大交易・大交流の時代 1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	a:大航海時代について適切に理解している。 b:ヨーロッパの海洋進出が他世界に与えた影響を考察・表現することができる。 c:大航海について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験	試験 試験	
		第10章 アジアの諸帝国の繁栄 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域	a:近世のアジア諸帝国の発展について適切に理解している。 b: 近世のアジア諸帝国の各資料を読み取り、その国の特色を考察・表現することができる。 c: 近世のアジア諸帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
		第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想	a:近世ヨーロッパ世界の展開や文化について適切に理解している。 b: 近世ヨーロッパ世界の美術作品や諸条約の内容などから、当時の社会の動向を考察・表現することができる。 c: 近世ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度